

## JR連合

# 第16回業種間安全検討会を開催



10月26日（木）、茨城県鹿嶋市において開催され、貨物鉄産労からは橋爪書記長が参加しました。業種間安全検討会は2005年以降、他産別の安全対策や事例を学ぶ機会と位置付けられており、これまで15回に亘り開催され、第16回目となる今回の検討会は、基幹労連のご協力のもと日本製鉄鹿島労組との意見交換と日本製鉄東日本製鉄所の見学を行いました。

冒頭、日本製鉄鹿島労働組副組合長の梅原様より組合の概況をご説明いただき、続いて、日本製鉄東日本製鉄所労働・購買部部長代理の梁瀬様より事業内容の概要や安全衛生管理体制や全社共通遵守事項（通称：6則）など日本製鉄における安全に関わる取り組みについてのご説明を頂いた後、製鉄所内の熱延工程見学を行いました。

日本製鉄をはじめとする鉄鋼業界はKYTや安全体感教育など多くのノウハウを考案し、日本の産業の安全衛生活動を常にリードし続けており、私たちJR連合においても、福知山線列車脱線事故から得た教訓を胸に刻み、悲劇を絶対に繰り返さないという認識のもと、安全文化の構築に取り組んでいます。

今回の業種間安全検討会では、鉄鋼業界における安全文化を知ることができ、学んだ教訓を鉄道分野に生かしていくことで、JRのさらなる発展・安全文化の醸成に努めていきたいと思えます。

今後、輸送障害が多発する冬季へ入り、列車遅延が多く発生するかと思いますが、作業においては、焦らず遅延を気にすることなく、安全最優先でお願い致します。